

科目名称	疾病の成り立ちと回復の促進IV (血液・免疫機能障害)	学年学期	単位数	時間数
		第2学年前期	1	15
担当教員	山下 政克	授業に関わる 実務経験	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

【1】 授業概要

血液・免疫機能障害によって引き起こされる症状と主な疾患・検査・治療について学ぶ。

【2】 学習目標

1. 主要な血液・造血器、アレルギー・膠原病・感染症の病態、検査、診断、治療法を説明することができる。
2. 血液と造血器の機能障害によっておこる症状と主な疾患・治療について学ぶ。
3. アレルギーや膠原病と免疫との関連、主な感染症と症状・治療について学ぶ。

【3】 第1看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

- 1. 人間を理解し、倫理的な態度で看護を実践する力
- 2. あらゆる対象に応じた看護を実践する力
- 3. 地域の特性を看護に生かす力
- 4. 保健・医療・福祉システムにおける連携・協働できる力
- 5. 主体的に学び続ける力

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	血液の成分と機能、造血のしくみについて学ぶ。	講義
2	病歴・身体所見、検査、症候と病態生理について学ぶ。	講義
3	赤血球・白血球の異常、造血器腫瘍、出血性疾患の病態、検査、診断、治療について学ぶ。	講義
4	検査と治療、症状と疾患について学ぶ。	講義
5	自己免疫疾患とその機序、症状と病態生理、検査と治療、疾患の理解について学ぶ。	講義
6	感染症とは何か学ぶ。また、検査・診断について学ぶ。	講義
7	感染症の治療について学ぶ。疾患の理解	講義
8	試験・まとめ	

【5】 評価方法

科目評価は、授業態度、質問への回答、ミニテストなどにて評価をする。

【6】 教科書

飯野京子: 系統看護学講座 専門分野 成人看護学4 血液・造血器 (第16版) 医学書院 2026 (電子版)
 泉川公一: 系統看護学講座 専門分野 成人看護学11 アレルギー・膠原病・感染症 (第16版) 医学書院 2026 (電子版)

【7】 参考書

北村聖: 臨床病態学 第1巻・第2巻 スーヴェルヒロカワ

【8】 受講生へのメッセージ

血液・造血器も機能と疾患、アレルギーと膠原病の機序、感染症の検査と治療について学びましょう。